

令和8年学力検査

全 日 制 課 程

第 3 時 限 問 題

社 会

検査時間 11時30分から12時15分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (1) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (2) 「解答始め」という指示で、すぐこの表紙に受検番号を書きなさい。続いて、解答用紙に氏名と受検番号を書き、受検番号についてはマーク欄も塗りつぶしなさい。
- (3) 問題は(1)ページから(10)ページまであります。表紙の裏と(10)ページの次からは白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (4) 答えは全て解答用紙のマーク欄を塗りつぶしなさい。
- (5) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (6) 「解答やめ」という指示で、解答することをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受検番号	第	番
------	---	---



◇M3(030-18)

2 次のIからⅢまでの資料は、授業で国風文化を学習した際に用いた、ある同一の天皇が位についていた時期のできごとについて述べたものである。また、ⅣからⅦまでの資料は、IからⅢまでの資料に興味をもったFさんとGさんが探究活動を行ったときに用いたものの一部である。あとの(1)から(4)までの問いに答えなさい。

I 資料

永延三年(989年)八月八日、元号を改めて永祚元年とした。すい星が現れたという天変によるものである。
「扶桑略記」

II 資料

長保元年(999年)六月十四日、内裏(注1)が焼け落ちた。この火事は修理職(注2)から出火したものである。
「日本紀略」
(注1)内裏…天皇の住居となる宮殿 (注2)修理職…宮殿を修理する役所

III 資料

長保元年(999年)十一月二日、昨夜、左大臣の娘が西京(注1)より入内(注2)した。
「小右記」
(注1)西京…都の西側にある邸宅 (注2)入内…天皇に嫁ぐこと

(I、II、IIIの資料は、一部要約し、現代語に訳してある。)

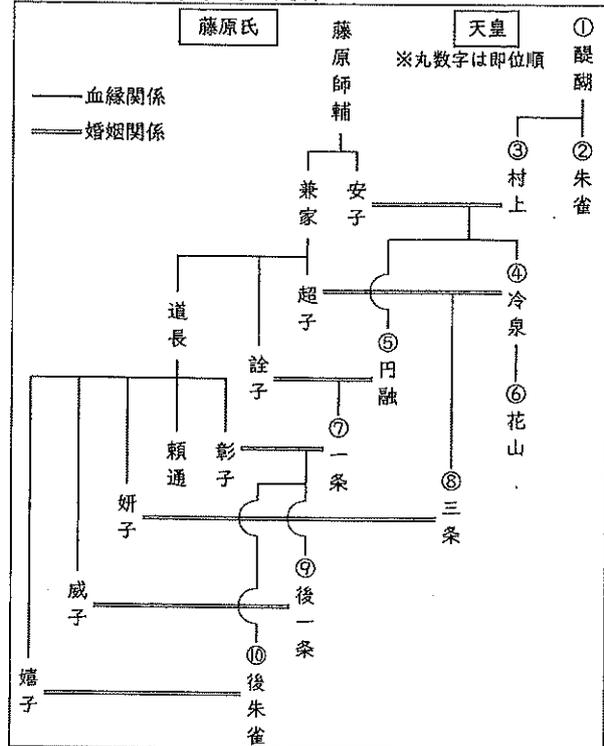
IV Fさんが作成したメモの一部

I、II、IIIの資料から元号(年号)について興味をもちました。調べてみると、現在の元号(年号)の制度となったのは、1868年の①「明治」への改元のときのようにです。また、元号(年号)は中国で始まり、日本でも取り入れられた年代の表し方で、歴史的なできごとの名称として使われたり、明治以降は②時代を示す名称としても使われていることがわかりました。

V 9世紀の都の模式図(上を北とする)



VI 天皇家と藤原氏の関係



Ⅶ Gさんが発表するために作成したメモの一部

京都に行ったとき、右の二枚の写真のように天皇の呼称と似た案内標識を見つけました。そこで天皇の呼称と京都の地名や道の名称との関係について調べてみることにしました。

先生から「Ⅱの資料の火事のあと天皇はどこに住んだんだろう」という問いかけがあり、調べてみると、天皇は大内裏の北東端に隣接する邸宅に移り住み、長く政治を行っていたことがわかりました。

その邸宅の場所はⅤの資料中の(③)付近です。さらに調べてみると、資料Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの時期の天皇は、その死後、(④)と呼ばれたことがわかり、(⑤)のではないかと推測しました。

また、Ⅲの資料にある入内については、Ⅵの資料から、この天皇が(⑥)の娘と婚姻関係を結んだことがわかり、当時の天皇家と藤原氏の関係の深さが実感できました。

著作権の関係上、表示しておりません。

(1) 次のAからDまでのことばについて、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの資料から読み取れる内容として、正しいものには「正」、誤っているものには「誤」をそれぞれ選びなさい。

- A 平安時代には元号(年号)があったこと
- B 天皇が亡くなったことにより元号(年号)が変わったこと
- C すい星の出現により元号(年号)が変わったこと
- D 内裏の火事により元号(年号)が変わったこと

(2) Ⅳの資料中の①「明治」への改元に至るまでの薩摩藩の動きについて述べた文として最も適切なものを、次のアからエまでの中から選びなさい。

- ア 過激な攘夷運動を行う武士らを取り締まり、戊辰戦争では旧幕府軍として戦った。
- イ 攘夷を実行して、外国船へ砲撃したため、4か国の艦隊の報復攻撃を受け、攘夷の方針を改めた。
- ウ 倒幕を目指す藩に同盟をもちかける一方、將軍には大政奉還をもちかけた。
- エ 殺傷事件が原因でイギリスと交戦したことで、攘夷は困難だとさととり、倒幕を目指した。

(3) 次の表はⅣの資料中の②時代を意識してつくったものである。世界で起こったできごとを、表中に年代順に並べたとき、昭和の時代の(B)、(D)にあてはまる文として最も適切なものを、下のアからオまでの中からそれぞれ選びなさい。

大正	昭和			平成				
(A)	→	(B)	→	(C)	→	(D)	→	(E)

- ア 国際連盟が発足した
- イ ベトナム戦争が始まった
- ウ ニューディール政策が実施された
- エ ヨーロッパ連合(EU)が成立した
- オ 北大西洋条約機構(NATO)が結成された

(4) Ⅶの資料中の(③)、(④)、(⑤)にあてはまる符号やことばの組み合わせとして最も適切なものを次のアからエまでの中から、(⑥)にあてはまることばとして最も適切なものを下のaからdまでの中から、それぞれ選びなさい。

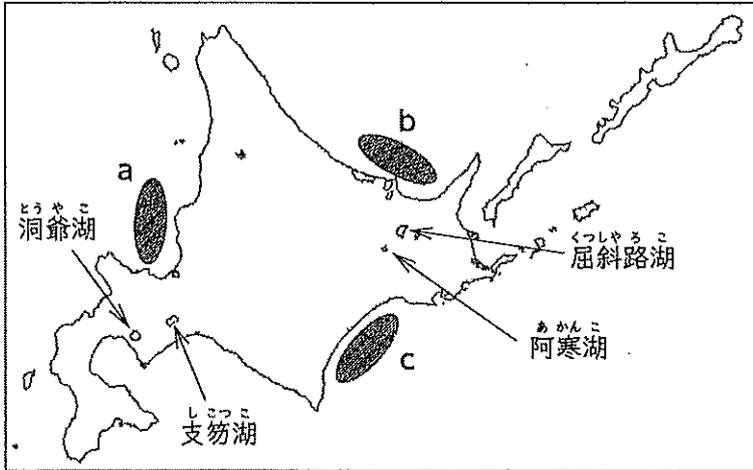
- ア ③：P ④：一条天皇 ⑤：その呼称に由来して邸宅が隣接する大路に名称がつけられた
- イ ③：P ④：一条天皇 ⑤：その呼称は大路に隣接する邸宅に由来してつけられた
- ウ ③：Q ④：三条天皇 ⑤：その呼称に由来して邸宅が隣接する大路に名称がつけられた
- エ ③：Q ④：三条天皇 ⑤：その呼称は大路に隣接する邸宅に由来してつけられた

- a 叔父である左大臣・藤原道長
- b 祖父である左大臣・藤原道長
- c 叔父である左大臣・藤原頼通
- d 祖父である左大臣・藤原頼通

3 次のIからVまでの資料は、生徒が北海道地方と九州地方を学習する際にまとめた資料の一部である。あとの(1)から(3)までの問いに答えなさい。

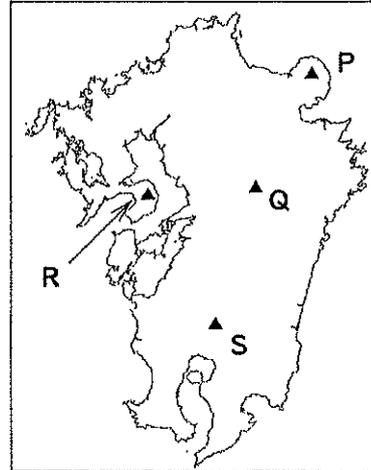
なお、Ⅲの表中のA、B、Cは、茨城県、鹿児島県、北海道のいずれかである。

I 北海道地方の略地図



(注) 一部離島は省略している。

II 九州地方の略地図



(注) 一部離島は省略している。

Ⅲ 農業産出額の総額において1位、2位、3位である3道県の豚の飼育頭数等

道県名	豚の飼育頭数 (千頭)	じゃがいもの 収穫量 (千t)	米の収穫量 (千t)	1農家あたりの 耕地面積 (ha)
A	1153	98	W	2.37
B	760	1819	X	Y
C	458	49	316	Z

(注) 1農家あたりの耕地面積は、田と畑の合計である。

(「データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版」をもとに作成)

IV 北海道の先住民族を紹介する施設

著作権の関係上、表示していません。

V 流水

著作権の関係上、表示していません。

(1) 次の文章は、生徒がIの略地図中の湖についてまとめた資料の一部である。文章中の(①)にあてはまることばとして最も適当なものを、下のアからエまでの中から選びなさい。また、文章中の阿蘇山^{あそさん}の位置として最も適当なものを、IIの略地図中のPからSまでの中から選びなさい。

なお、文章中の2か所の(①)には同じことばがあてはまる。

洞爺湖^{とうやこ}や支笏湖^{しこつこ}、屈斜路湖^{くつしやろこ}、阿寒湖^{あかんこ}などの湖は、(①)に水が貯まってできた湖です。九州地方の阿蘇山^{あそさん}では、世界最大級の(①)をみることができます。

ア カルデラ イ 三角州 ウ 扇状地 エ フィヨルド

(2) IIIの表中のA、B、Cにあてはまる道県名の組み合わせとして最も適当なものを、次のアからカまでの中から選びなさい。また、IIIの表中のWからZまでにあてはまる数字の組み合わせとして最も適当なものを、下のキからコまでの中から選びなさい。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
A	茨城県	茨城県	鹿児島県	鹿児島県	北海道	北海道
B	鹿児島県	北海道	茨城県	北海道	茨城県	鹿児島県
C	北海道	鹿児島県	北海道	茨城県	鹿児島県	茨城県

	キ	ク	ケ	コ
W	540	540	83	83
X	83	83	540	540
Y	30.40	2.28	30.40	2.28
Z	2.28	30.40	2.28	30.40

(3) 次の生徒xと生徒yの会話文中の(②)にあてはまることばとして最も適当なものを、下のアからエまでの中から選びなさい。また、(③)にあてはまる符号として最も適当なものを、Iの略地図中のaからcまでの中から選びなさい。

生徒x：北海道の観光について調べていたら、IVの写真を見つけました。写真には、北海道の先住民族で、独自の文化や言語をもつ(②)民族(の人々)の文化を紹介する施設が写っています。

生徒y：彼らの伝統的な暮らしぶりなどが紹介されているんですね。とても興味深いです。北海道は文化だけでなく、雄大な自然も観光資源になっています。私は、Vの写真にある流氷を調べました。

生徒x：シベリアから流れ込む強い寒気によってうまれた流氷が、成長しながらオホーツク海をわたり、北海道に接岸するというのをニュースでみたことがあります。

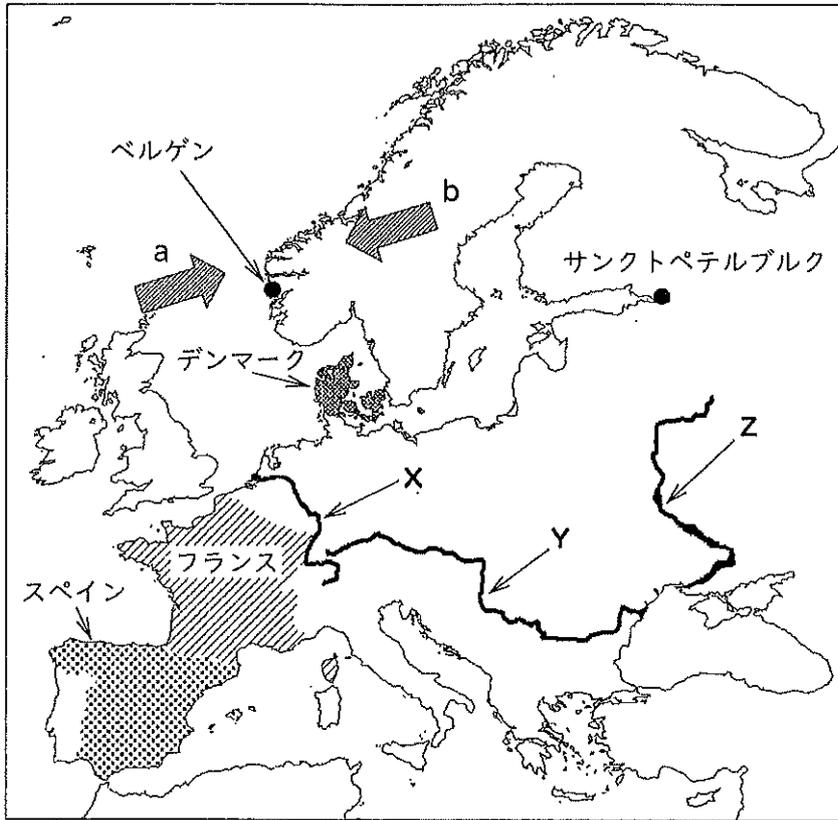
生徒y：流氷は、冬に、Iの略地図中の(③)の海域で観測でき、観光で人気を集めているそうです。

ア アイヌ イ ラテン ウ スラブ エ モンゴル

4 次のIからIVまでの資料は、生徒がヨーロッパ州についてのレポートを作成するために用意したものの一部である。あとの(1)から(4)までの問いに答えなさい。

なお、ⅢのグラフのP、Q、Rは火力発電、原子力発電、水力発電のいずれかである。また、Ⅳの表中のA、B、Cはスペイン、デンマーク、フランスのいずれかである。

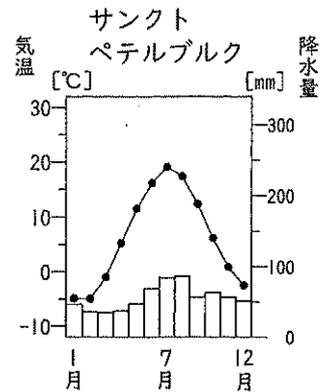
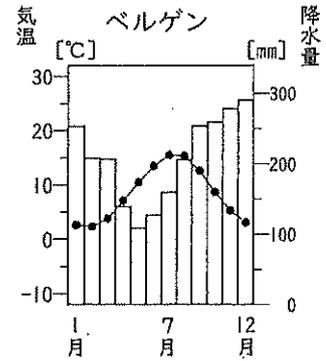
I 略地図



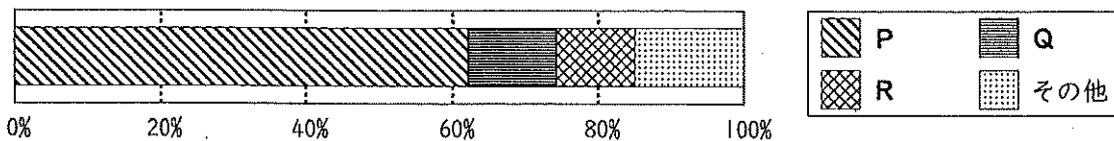
(注) 略地図中の は風向きを示し、「☆ ※」ならば、「☆」から「※」の方向に風が吹くことを示す。

(気象庁ウェブページをもとに作成)

II 2都市の月別降水量と月別平均気温



III フランスの発電量の内訳



(「データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版」をもとに作成)

IV 3国の国民1人あたりの牛乳の生産量等

国名	国民1人あたりの牛乳の生産量 (kg)	国民1人あたりのオリーブの生産量 (kg)	穀類の自給率 (%)
A	951.6	-	112.7
B	349.1	0.3	184.0
C	155.5	82.2	48.8

(注) 表中の「-」は全くない、もしくはデータがないことを示している。

(「データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版」などをもとに作成)

- (1) 次の文章は、生徒がヨーロッパ州を流れるある河川についてまとめたものである。この河川の流路として最も適当なものを、Iの略地図中のXからZまでの中から選びなさい。また、文章中の山脈の名称として最も適当なものを、下のアからエまでの中から選びなさい。

この河川は、オランダやドイツなど複数の国を流れる河川で、流れが穏やかなために水運に適しており、物資の輸送に重要な役割を果たしています。また、この河川は、4000mを超える高い山々からなる山脈に位置する湖を源流としています。

ア アルプス山脈 イ アンデス山脈 ウ ヒマラヤ山脈 エ ロッキー山脈

- (2) 次の文章は、生徒がIの略地図中のベルゲンの気候についてまとめたものである。IIのグラフを参考にして、文章中の(①)にあてはまる文として最も適当なものを、下のアからエまでの中から選びなさい。また、文章中の(②)にあてはまる符号として適当なものを下のオまたはカから、文章中の(③)にあてはまることばとして適当なものを下のキまたはクから、それぞれ選びなさい。

ベルゲンの気候は、ほぼ同じ緯度に位置するサントペテルブルクと比べると(①)という特徴があります。これは、大西洋を流れる海流とその上空を吹く風の影響を受けているからです。ベルゲン付近を吹く風の1月ころの風向きは、Iの略地図中の(②)の向きであり、7月ころの風向きと(③)になります。

ア 冬季に気温が高く、年間を通して降水量が少ない
 イ 冬季に気温が高く、年間を通して降水量が多い
 ウ 冬季に気温が低く、年間を通して降水量が少ない
 エ 冬季に気温が低く、年間を通して降水量が多い
 オ a カ b キ ほぼ同じ向き ク ほぼ反対の向き

- (3) 次の文章は、生徒がフランスの発電についてまとめたものである。文章中の(④)、(⑤)にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、下のアからカまでの中から選びなさい。

IIIのグラフで、フランスの発電量の内訳の中で最も割合の高いPは、温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量が少ないとされる(④)です。日本では、東日本大震災のあと、この方法による発電量は大きく(⑤)しました。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
④	火力発電	火力発電	原子力発電	原子力発電	水力発電	水力発電
⑤	減少	増加	減少	増加	減少	増加

- (4) 次の3枚のカードは、生徒がIVの表中のA、B、Cのそれぞれの国の農業について説明するために作成したものである。これらを参考にして、IVの表中のA、B、Cにあてはまる国名の組み合わせとして最も適当なものを、下のアからカまでの中から選びなさい。

<カード>

夏に乾燥する気候が広くみられるこの国は、地中海式農業がさかんです。

北海に面するこの国は、比較的冷涼な気候で、酪農が発達しています。

広大な国土を有するこの国は、小麦の世界有数の輸出国です。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
A	スペイン	スペイン	デンマーク	デンマーク	フランス	フランス
B	デンマーク	フランス	スペイン	フランス	スペイン	デンマーク
C	フランス	デンマーク	フランス	スペイン	デンマーク	スペイン

5 次のⅠからⅢまでの資料は、生徒が日本の労働や税金について調べた際に用意したものの一部である。あとの(1)から(4)までの問いに答えなさい。

なお、Ⅱの資料中のA、B、Cは、雇用の安定性、賃金、労働時間・休日等の労働条件のいずれかであり、Ⅲの資料中のX、Y、Zは消費税、所得税、法人税のいずれかである。

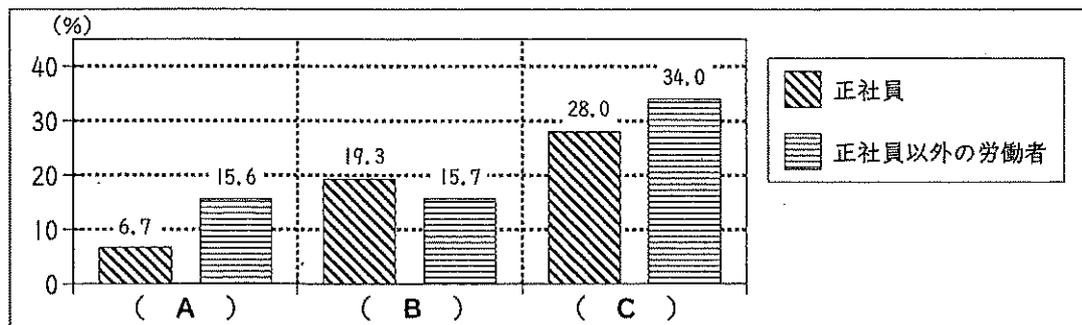
Ⅰ 雇用形態別雇用者数（男女別・年代別）

年代	男性				女性			
	2004年		2024年		2004年		2024年	
	正規雇用 (万人)	非正規雇用 (万人)	正規雇用 (万人)	非正規雇用 (万人)	正規雇用 (万人)	非正規雇用 (万人)	正規雇用 (万人)	非正規雇用 (万人)
15～24歳	163	115	137	137	144	138	126	153
25～34歳	688	91	486	79	329	221	350	150
35～44歳	612	44	551	56	203	247	285	245
45～54歳	561	46	667	61	213	270	317	360
55～64歳	329	112	419	132	118	183	177	319
65歳以上	32	58	87	216	18	36	43	217

(注) 15～24歳の正規雇用・非正規雇用の数は、在学中の者を含む。

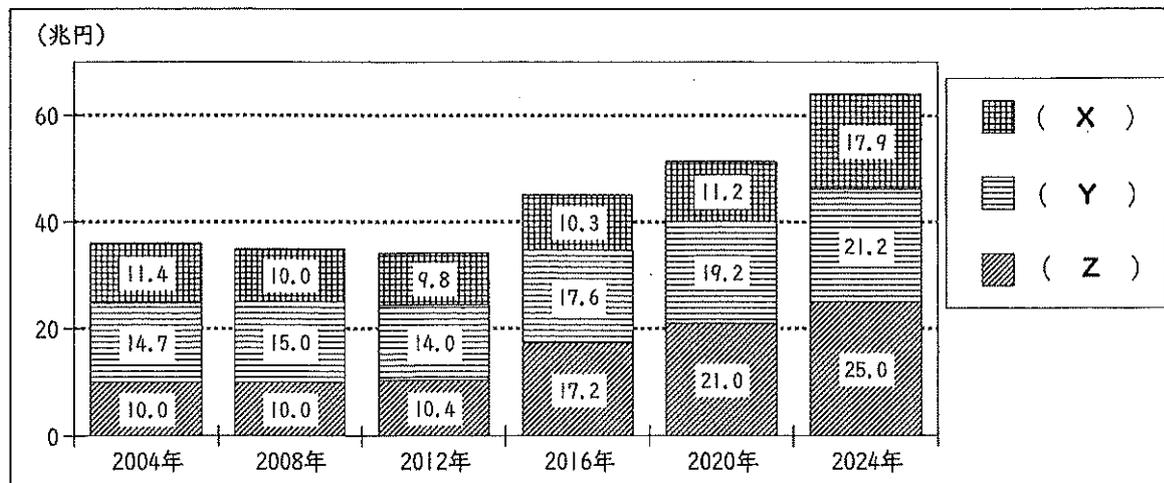
(総務省ウェブページをもとに作成)

Ⅱ 就業形態別、現在の職場で「不満」または「やや不満」と回答した人の割合



(厚生労働省「令和元年就業形態の多様化に関する総合実態調査の概況」をもとに作成)

Ⅲ 3種類の税金の税収額の推移

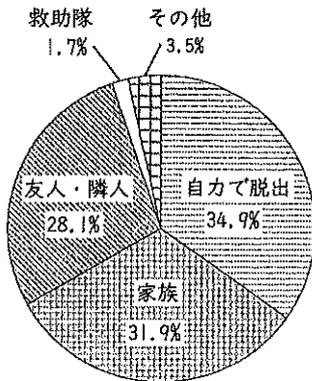


(注) グラフの中の数字は、税別の税収額 (兆円) を示す。

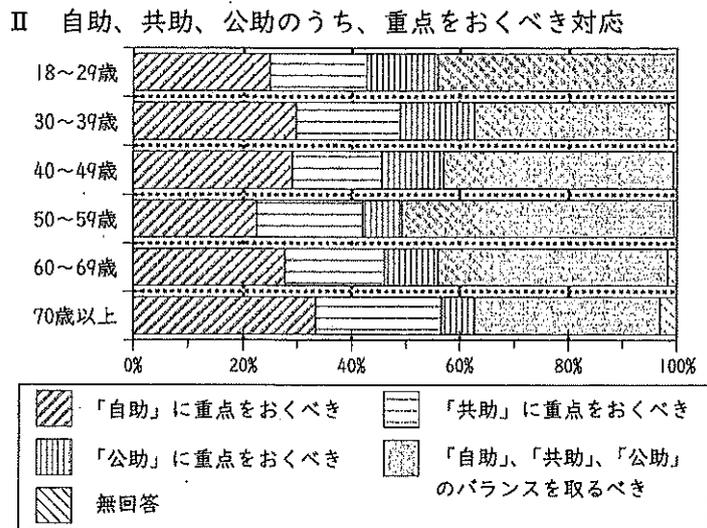
(財務省ウェブページをもとに作成)

6 次のⅠ、Ⅱの資料は、生徒が防災についてまとめたレポートの一部である。あとの(1)から(3)までの問いに答えなさい。

Ⅰ 阪神・淡路大震災における閉じ込められた際などの救助主体等



(注) 四捨五入の関係で、合計が100%とまらない。



(Ⅰ、Ⅱともに内閣府「防災に関する世論調査」(令和4年)などをもとに作成)

(1) 次の文章は、生徒が発表した際のメモの一部である。文章中の(①)、(②)にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、下のアからエまでのの中から選びなさい。

Ⅰのグラフから(①)による救助率のほうが高いことがわかります。災害が起こった時は、地域住民が力を合わせなければ被害を軽減することはできません。また、Ⅱのグラフは、自然災害が起こった時に、被害を少なくするために「自助」、「共助」、「公助」のどれに重点をおくべきと考えているかを聞いた調査の結果です。Ⅱのグラフから(②)と回答した人の割合は、全ての年齢層において3分の1以上を占めていることがわかります。

- ア ①：友人・隣人より救助隊 ②：「自助」に重点をおくべき
- イ ①：友人・隣人より救助隊 ②：「自助」、「共助」、「公助」のバランスを取るべき
- ウ ①：救助隊より友人・隣人 ②：「自助」に重点をおくべき
- エ ①：救助隊より友人・隣人 ②：「自助」、「共助」、「公助」のバランスを取るべき

(2) 災害に備えて行う取組のうち、共助に重点をおく取組について述べた文として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

- ア 国が海岸に防災林や防潮堤を整備するなどの開発計画を立てる。
- イ 町内会が校区の住民に消防団主催の防災訓練への参加を呼びかける。
- ウ 住民が自宅の家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防ぐ。
- エ 市が自宅から避難所までの避難経路を決めるためのハザードマップを作成する。

(3) 次の文章は、生徒が地方自治体の防災について調べた際のメモの一部である。文章中の(③)、(④)にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、下のアからエまでのの中から選びなさい。

2000年代に地方自治体は、自らの行政の効率化や財政の安定化をはかるため、(③)を進めました。その結果、防災対策を行うべき地域が広域化する一方、防災担当の職員が減少、不足しているところもあります。また、そうした地方自治体では、(④)や高齢化が進む中で、災害時における地域の住民同士の助け合いが機能しなくなることも懸念されています。

- ア ③：市町村合併 ④：過密
- イ ③：たてわり(縦割り)行政 ④：過密
- ウ ③：市町村合併 ④：過疎
- エ ③：たてわり(縦割り)行政 ④：過疎

(問題はこれで終わりです。)